



地下鉄東西線 西11丁目駅下車2番出口より徒歩5分
 市電 西15丁目電停下車徒歩3分



社会医療法人北海道恵愛会

札幌南一条病院

〒060-0061 札幌市中央区南1条西13丁目317番地1
 TEL(011)271-3711(代) FAX(011)281-0275



<http://www.h-keiaikai.or.jp/minamiichijo/>

まずはお気軽に看護部長または総務課までお問合せください。



札幌南一条病院は、
 公益財団法人日本医療機能評価機構
 一般病院1(機能種別版評価項目3rdG:Ver.1.0)
 認定病院です。

看護職員募集の ご案内



社会医療法人 北海道恵愛会 **札幌南一条病院**

笑顔でつながる心。

人間性豊かな心ある医療の提供をめざして。

当院は、1981年に医療法人社団 北海道恵愛会 南一条病院として開設された歴史ある病院です。2003年に急性期機能が移転し、札幌南三条病院として新設され、当院の病院名も札幌南一条病院へと変更しました。現在は、慢性期にある循環器疾患、呼吸器疾患、人工透析を中心とした診療を行っています。

2014年には、社会医療法人への申請も承認され、さらに北海道恵愛会の基本理念である「専門性と質の高い医療を通じ、地域の発展に寄与する」を実践できるよう職員が一丸となって「人間性豊かな心ある医療の提供」を目指し、日々努力しております。

札幌南一条病院の大切な5つのS

Smile

患者さんの心を大切に、
笑顔あふれる職場

Smart

創意工夫と
考える力を身につける

Safety

何よりも患者さんの
安全を第一に考える風土

Sincerity

誠実な
医療・看護の提供

Satisfaction

患者さんも職員も
満足できる環境づくり

スキルアップを目指して

当院は、呼吸器・循環器、人工透析の専門医療機関のため、患者さんのほとんどは腎不全や糖尿病などの慢性疾患を抱え、日常生活援助を必要としています。だからこそしっかり時間をかけて、看護師の基本的で重要な仕事である日常生活援助を学ぶことができます。排泄介助、移乗、口腔ケア、ポジショニング、食事介助、嚥下訓練といったケアの知識と技術が身につくのはもちろん、基本的な診療科も学ぶことができます。新人看護師の教育には、段階的な研修プログラムを実施。一人ひとりに実地指導者がつき、サポートするので安心です。さらに札幌市内の大学の協力で、看護過程、看護研究についても力を入れて教育しています。安全管理・感染管理にも先進的に取り組み、職員が安全で安心して働ける労働環境を整えています。

慢性疾患を有する患者さん、障がいを抱えた高齢者の看護、基本的な看護ケアを学びたい方にとって、当院は最適な職場です。もし急性期希望でも、基本的な看護ケアを身につけておくことは、この先きっと役に立ちます。

病院の概要

診療科目

循環器・腎臓内科、呼吸器内科、消化器内科
リハビリテーション科、内科、放射線科
人工透析（夜間透析対応）
各種健康診断（企業健診）、人間ドック、血管ドック
SAS（睡眠時無呼吸症候群）検査

病床数

147床

フロア案内

- 7F ▶会議室
- 6F ▶一般障がい者病棟（49床）
- 5F ▶一般障がい者病棟（49床）※うち2床は透析病床
- 4F ▶一般障がい者病棟（49床）※うち2床は透析病床
- 3F ▶リハビリ室、薬局、透析機械室、血管造影室
- 2F ▶透析室（外来・入院74ベッド）、患者さん更衣室
ラウンジ
- 1F ▶受付・会計、総合待合室、診察室、処置室
生理検査室、放射線撮影室
- BF ▶ボランティア室

Sapporo
Minami1jo Hospital

病院 紹介

患者さんの安全・安楽を チーム医療が実現しています。

私たちの病院は、透析療法を中心に呼吸・循環器のトータルな医療を目指し、専門性の高い医療を提供しています。大切にしているのは、家族のような目線のケアと、スタッフ間の連携。患者さんが安心して療養できるよう、日々努めています。

自主性を持ち、信頼される看護師を目指して

当院は、「専門性と質の高い医療を通し、地域の発展寄与する」を理念に掲げる、147床の病院です。

看護部のモットーは、「明るい笑顔と信頼される看護」。患者さんにご家族の思いやご意見を尊重し、看護ケアに参加していただくとともに、安心と満足の行く質の高い看護サービスの提供に努めています。

職員に対しては、豊かな感性と自主性を発揮し、自己研鑽ができる教育体制を整えてきました。一人ひとりが自覚と誇りを持って自らを磨き、信頼される看護師へと成長できる「人が育つ・人を育てられる魅力ある職場」でありたいと願っています。新人看護職員研修プログラムや経年別研修の構築をし、また院外研修の参加、臨床指導者の育成や認定看護師育成のための支援制度を整備してきましたので、是非活用して下さい。

また子育て支援、ワークライフバランスに合わせた勤務形態など、働き続けられる職場づくりにも力を入れていきたいと考えています。確かな技術に裏付けられた看護に自信を持ち、他職種と競合し、そしてお互いに信頼し影響し合える職場を、一緒に育んでいきましょう。

看護部長 高橋 由香



Sapporo
Minami1jo Hospital

看護部 の特色

笑顔溢れる心のかよった看護。 その実現のための環境づくり。

看護部の理念

「あかるい笑顔と信頼される看護(介護)」をモットーに、専門職としての知識・技術の向上につとめ、常に人の生命と尊厳を尊重した看護(介護)を提供します。

看護部基本方針

札幌南一条病院の職員として、職員一人一人が
自主性を存分に発揮し、「望む看護」「望まれる看護」を
提供できるよう主体的に自己研鑽できる人材を育成する。

- 安全な療養生活を過ごせるよう安全対策を最優先します。
- 人の生命および尊厳を尊重する立場にたって行動します。
※その具体的な行動として、すべての人を対象に、いかなる時もカンファッパルケアを実践します。
- 慢性期にある心臓病・腎臓病・呼吸器疾患ケアのスペシャリストの育成を目指します。
- 職員間のコミュニケーションを大切に、チーム医療に取り組みます。
- 患者さんの持てる力を活かし、健康の維持・増進・回復・苦痛の緩和に努め、生命力の消耗を最小にし、最後までそのらしく過ごすことができるよう支援します。
- 地域・介護・福祉との連携に努め、安心と満足の行く看護を提供します。

※「望む看護」ケア提供者・ケアを受ける側(患者・家族)両者の思いを一致させて、専門職として、その人に最適な看護(介護)を提供すること。

※「望まれる看護」ケア提供者に期待される看護(介護)。

看護部教育目標

- 常に患者の尊厳を守り、患者・家族の意思を尊重したケアを実践できる看護職員を育成する。
- 患者に寄り添い、意思決定を支えることで、看護する喜び・看護の力を実感できる看護職員を育成する。
- 自己課題達成に向けて主体的に考え、努力する看護職員を育成する。
- 呼吸・循環・透析看護に必要な能力(知識・スキル・態度)を備え、後輩の学習支援ができる看護職員を育成する。
- 患者の退院後の生活や将来の望ましい姿をイメージでき、生活の処方箋を描くことができる看護職員を育成する。

※介護職員の教育目標も看護師と同様とする。



職場と仕事になれるまで、 病院全体でサポートします。

当院では、厚生労働省が務める「新人看護職員卒後臨床研修事業」に基づいて教育プログラムを立てています。自信を持って患者さんを支えられる看護師を目指し、頑張る新人を支援していきます。

外来

外来では、常に患者さんの安全・安楽を第一に考えています。検査ミスがないよう確認作業を徹底し、ご高齢の方の転倒の危険や体調は悪くないかなど、目配りも欠かしません。HOTやCAPD・ASVなど、在宅で医療機器を使用している患者さんに対しては、観察シートを活用し、いち早く異常や変化に気づけるよう努力しています。退院後受診の患者さんには、病棟と連携しながら継続看護を行っています。



透析室

道内でいち早く中央管理システムを導入し、現在は血液透析のほか腹膜透析治療も実施。1日最大200人を収容できます。保存期間から維持期間まで一環したケアを目指し、透析患者高齢化に向けた、集団リハビリテーションも試みています。感染認定看護師、糖尿病療養指導士も在籍し、感染制御対策などにも力を注いでいます。



一般障がい者病棟



病棟はすべて、障がい病棟で慢性期の患者さんが対象になります。主に透析患者さんや、神経難病、脳卒中後遺症、慢性呼吸不全の患者さんが療養生活を送っています。日常生活のほとんどに援助を必要としており、看護師・ケアワーカー・看護助手と協力してケアを行っています。看護方式は受け持ち制を行っており、看護計画立案時は患者、家族への提示を行い目標を共有しています。



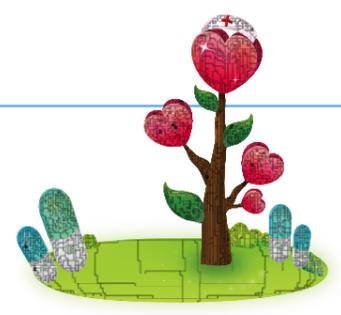
教育制度

職場と仕事に慣れるまで、病院全体でサポートします。

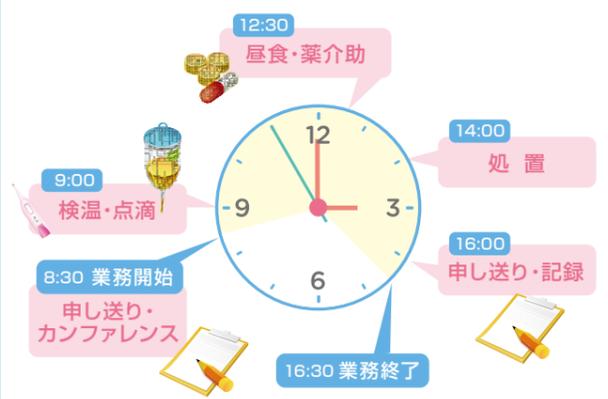
当院では、厚生労働省が勧める「新人看護職員卒後臨床研修事業」に基づいて教育プログラムを立てています。自信を持って患者さんを支えられる看護師を目指し、頑張る新人を支援していきます。

新人看護師1年目の到達目標

- 1 看護職員として必要な基本姿勢と態度を身につける。
- 2 日常生活援助に必要な基本的な看護技術を身につける。
- 3 看護実践における安全管理とコスト意識を身につける。
- 4 看護師の前に一生活者としてセルフマネジメントができる。
- 5 病棟勤務の場合は、基本的に10か月以内に夜勤業務ができる能力を身につけることができる。



ナースの1日スケジュール 8:30~16:30



新人看護師5年間の予定

3年目で「業務リーダーの自立」、5年掛けて「一人前」の看護師に育つよう、計画的に研修を行っています。また、3年目でチューター、4~5年目で実地指導者などの新人教育に携わっていき、共に成長できる環境を作りを目指しています。



新人看護師教育プログラム

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<ul style="list-style-type: none"> 新採用者オリエンテーション 検温シミュレーション 記録の書き方、接遇 トランス スキンケア 	<ul style="list-style-type: none"> 1ヶ月研修 口腔ケア 防災 輸液ポンプ等 	<ul style="list-style-type: none"> 3ヶ月研修 夜勤研修 	<ul style="list-style-type: none"> 6ヶ月研修 多重課題シミュレーション 	<ul style="list-style-type: none"> レスピレーター 	<ul style="list-style-type: none"> 1年目研修 						
<p>新人職員は各部署に配属される前に、最初の5日間オリエンテーションを受けます。病院の一員として働くために必要な規則や知識、技術の基本を理解し、他部署の業務内容なども学べます。</p>		<p>少し職場に慣れ始める時期です。同時期に入職した仲間と情報交換したり、1年間の個人目標と行動計画を立てます。</p>		<p>先輩の手を離れ一人で行動することが多くなり、不安になりがちな頃。実地指導者や他の先輩たちにも相談しましょう。</p>		<p>下半期に向けて、個人目標の達成度を振り返ります。まだ経験していないことがあれば、積極的にトライしましょう。</p>		<p>仕事にも職場にも慣れてくるのが、この時期です。患者さんのケアを通し、看護師としての自信と自覚ができてきます。</p>		<p>1年が過ぎ、4月に新人が入ってきたら、もう先輩ナースです。知識や技術、個人目標の達成度を再確認しましょう。</p>	

夜勤研修

新人全員が夜勤自立ができるよう、計画的に集合研修とOJTを組み合わせて、6月から夜勤に入ります。※夜勤手当あり

第1段階 (6月~)
夜勤: 月1~2回
夜勤業務がイメージできるよう見学をする。実際に夜勤を体験し、仮眠や夜勤前後の生活調整ができる。

第2段階 (8月~)
夜勤: 月2回
夜勤業務の流れがわかる、夜間の看護ケアがわかる。4~6名の患者を持ち、段階的に患者数を増やし、夜勤業務に必要なケアを習得。

第3段階 (10月~)
夜勤: 月2~4回
夜勤自立に向け、即入や急変などの管理業務を学ぶ。夜間速入時の指示受けや夜間検査の手順、急変時の医師への報告など。

シロサイパディ研修

シロサイは、3歳頃になると母親と離れ、同じ年頃の子供たち2頭でパディを組み、他のいろんな群れの縄張りに入れてもらい、エサの在りかや 危険な場所など、生きていくための知恵を教えてもらうという生態にちなんでいる研修です。⇒**自ら学ぶ姿勢や学び方を習得するための研修**
月に1回集まり、お互いの近況を自由に話し合い、共有するゆるい研修 でもあります。日ごろの業務内容の復習や、新人看護師が不安や不得手に思っている ことを題材としています。2年目の前半まで、シロサイパディフォローアップとして、1年間でやり残したことを再度、学び直す機会にもしています。



集合研修シミュレーション

一年目看護師さんを対象に実践力を身につけてもらうための研修です。カレスサポートクリニックシミュレーションセンターをお借りし、実践により近い形で研修を行っています。

- シミュレーション** 研修目的に合わせて、患者さんの状況・環境を想定してできるだけ忠実に再現した病室で患者さんの観察や対応を体験します。
- デブリーフィング** 全員が体験したあとディスカッションして、行ったことの裏付けの知識・技術・態度を確認し合います。

はじめて患者さんの検温に行く前に「検温シミュレーション研修」、半年後複数の患者さんを担当するころには「多重課題シミュレーション研修」を行っています。



新人がスムーズに職場に適應できるよう「チューターシップ」を導入しています。

先輩達からメッセージ。

看護師としてしっかり成長できる教育体制、そしてたくさんの頼れる先輩たち。私たちの病院には、スキルと人間性を磨きながらイキイキと働ける環境が整っています。

H・Iさん
2021年入職

新人の頃は全てが初めてで、業務を覚えるのに精一杯でしたが、困った時には先輩方がサポートしてくれて、安心して働くことができました。

また院内研修も多く、他の階の同期とも関わる機会が多くあり、お互い困っていることや、学習方法などを共有することができ、更に頑張ろうという励みになりました。

今後も日々学習し、患者さんの不安や苦痛に気づき、寄り添いながら看護を行っていきたいです。

Y・Yさん
2019年入職

入職したばかりの頃は、不安や緊張でいっぱいでしたが、先輩方のサポートがあり乗り越えることができました。

指導する立場となった今、自分が新人だった頃の不安や緊張を忘れずに、後輩たちが相談しやすい環境をつくることを大切にしています。知識や技術を再確認しながら指導したり、どのようなアドバイスがいいのか考えながら指導することは、自分自身のスキルアップにもつながっていると感じています。新人さんと一緒に自分も成長していきたいです。

S・Yさん
2020年入職

私が入職した年は、COVID19が蔓延し始めた年でした。看護師としても社会人としても1年目

だったため、右も左も分かりませんでした。日々優しい先輩に助けられました。今は後輩も出来、責任を追うようになりましたが、今でも先輩たちに日々教えてもらいながら知識を深めていき、充実した毎日を送ることができています。今後は、多くの経験を積み、勉学にも励むことで、患者さんにも頼られるような看護師になることが目標です。

S・Oさん
2022年入職

慢性期病院なので、一人一人の患者さんとコミュニケーションをとりながら看護ができています。

分からないことや自分の行動に悩んだ時は、先輩が助けてくれるので、働きやすいです。

※一部抜粋

先輩看護師の主な出身校

旭川医科大学医学部看護学科、天使大学看護栄養学部看護学科、旭川大学保健福祉学部保健看護学科、札幌保健医療大学看護学部看護学科、日本医療大学保健医療学部看護学科、中村記念病院付属看護学校、独立行政法人 国立病院機構北海道医療センター付属札幌看護学校、小樽市立高等看護学院、滝川市立高等看護学院、砂川市立病院付属看護専門学校、深川市立高等看護学院、市立室蘭看護専門学校看護学科、日鋼記念看護学校看護学科、伊達赤十字看護専門学校、函館厚生院看護専門学校、市立函館病院高等看護学院、函館看護専門学校、富良野看護専門学校、北海道紋別高等看護学院、琴似看護専門学校

部会活動

医療の現場のニーズを探り、各部署が連携して対策を。

当院では各部署のスタッフが連携して情報を共有し、それぞれの立場から解決策を提案・実行するため、部会制度を設けています。病棟や部署、専門分野の枠を越えて、よりトータルに患者さんのニーズに対応するため、テーマごとに組織的な活動を行います。

看護部3部会活動

看護部では、3つの部会(クオリティ部会・セイフティ部会・育成部会)と、各部署の小集団活動により、安全で質の高いケアの提供と人材育成のための活動を行っています。

クオリティ部会

クオリティ部会は、看護および介護ケアの質向上と看護記録の質向上を担当している部会です。

皮膚・排泄ケア認定看護師も参加し、排泄ケア、下肢血流評価・フットケアについても検討しています。

【主な活動内容】

身体抑制に関する見直し
看護基準・手順の見直し
看護記録・記録基準の見直し
看護業務の見直し
排泄ワーキンググループでの検討 など

セイフティ部会

セイフティ部会は、医療安全を担当する部会です。安全管理委員会と連携し、看護および介護業務について安全の視点で検討しています。

【主な活動内容】

安全予防対策の検討
インシデント・ヒヤリハットの検討
安全ニュースの発行
安全教育の企画・実施
安全キャンペーンの実施
TeamSTEPSの推進

育成部会

看護師・准看護師、介護士の教育と看護(介護)倫理を担当している部会です。

新人看護師の教育プログラム、経年別研修、学生指導、研究支援、倫理カンファレンスなどを中心に活動しています。また、介護職員に院内認定制度についても、介護職員と連携し検討しています。

【主な活動内容】

新人オリエンテーション
経年別研修 ①メンバーシップ研修
②リーダーシップ研修
③チームリーダー研修
職種別研修
フィジカルアセスメント研修
倫理の取り組み発表会
看護過程研修・事例報告会 など

より良いケアを
実践するために
頑張りましょう!



創傷事例検討会

院内の褥瘡防止対策委員会メンバーのうち、病棟看護師が中心となって、実際の褥瘡・創傷の症例について情報の共有に努めています。具体的には、各病棟の褥瘡・創傷の事例を持ち寄り、現在の創部の評価と、必要と考えられる治療について検討。結果を褥瘡防止対策委員に伝え、早期治癒を目指します。

感染リンクナース会議

患者さんや医療従事者を感染から守るため、感染対策チームのICTと連動し、感染予防対策の検討を行っています。各病棟の感染対策上の問題を抽出し、各所属先での感染防止教育に努めます。

人材育成

スペシャリスト、認定看護師を育成しています。



現在2名の認定看護師(皮膚・排泄ケア、透析看護)が活躍しています。
当院では、一定の条件を満たす職員に対して認定看護師育成の支援制度を設けており、2名ともその制度を利用して認定看護師の資格を取得しました。



皮膚・排泄ケア認定看護師 竹内 順子さん

皮膚・排泄ケア認定看護師として院内の褥瘡・創傷、排泄管理に関わっています。
当院に入院している患者さんは、高齢者でADLが低下している事が多いので、各部署の褥瘡対策チームのメンバーとの話し合いを行い、褥瘡自家発生ゼロを目指して活動しています。創傷については、スキンケア(皮膚裂傷)予防対策や発生時ケアと再発予防。下肢虚血による潰瘍形成から下肢切断を防ぐために、透析看護認定看護師と共に下肢虚血の早期発見できるよう活動をすすめています。また、失禁に伴う皮膚疾患から皮膚を守るために排便コントロールの検討なども行っています。
認定看護師として学んだ知識と、各部署の症例に関わらせていただいた経験を活かして、より良いケアが提供できるようにしたいと考えています。

透析看護認定看護師 福島 亮さん

透析看護は、安全・安楽な透析治療の実践はもちろんの事、長期の療養生活に対し個別的な患者教育の実践が期待されています。現在の透析療法の現状は、患者の高齢化と治療の長期化が進んでいます。その中で、患者本人だけを看護の対象にするのではなく、患者家族・患者を含む社会背景までを視野に入れて支援することで、より良い生活を送りながら透析療法を継続していくことが出来ると考えています。そして、透析治療導入の遅延・回避を目的とした、早期の看護介入も透析看護の重要な活動であり、今後より力を入れていきたいと考えています。



月1回認定看護師会(タイムの会)の定例会を開催し、お互いの活動状況や目標管理、研究活動について検討します。また、看護3部会(クオリティ部会、セイフティ部会、育成部会)や関連する委員会とも連携し、精力的に活動しています。
「タイム会」の名称は、タイムの花言葉である「勇気」「活動力」に由来しています。決して大輪の花ではありませんが、小さな花でも着実に活動し成果をあげることができるよう、メンバー全員で名付けました。

福利厚生

安心して働け、スキルアップできる環境を整えています。

安心の子育て支援

子育てと看護という仕事。どちらも大切に両立させたい人を応援するため、当院では病院から徒歩1分の「第一すずらん保育園」と25年以上提携。同保育園は年中無休・24時間体制で、充実した保育環境を提供するNPO法人です。医療関係者をはじめ、勤務時間が不規則な父母のみなさんが、安心して働けるようにと設立されました。子どもたちが心身ともに、のびのびと健やかに成長できるよう、きめ細かな保育プログラムを用意しています。小学校入学に備えて文字や数、英語、音楽に親しむ時間もおり、教育面でも信頼できる園です。



ライフスタイルに合わせた勤務形態

フルタイムで働くのは難しい人も、ぜひ希望の勤務時間を相談してください。パート勤務の場合、「子どもの幼稚園の送り迎えに合わせて、10~14時に勤務したい」「学校に通っているので、夜勤専門で働きたい」といった要望にも、柔軟に対応しています。

看護職員が安心して業務に集中し働けるように、プライベートでもリフレッシュできる、多彩な福利厚生を整えております。

職員の意見・要望を把握

意見、要望をとりまとめ、常に職員専用意見箱を設置。年1回職員満足度調査アンケートを実施しております。

就業支援の取り組み

院外保育施設(徒歩1分)、育児短時間勤務、奨学金制度、研修支援制度(認定看護師等)

慶弔見舞金

慶弔、傷病、災害の際の慶弔見舞金を支給します。

医療見舞金制度

当院に受診した場合、互助会より診察代、入院費が医療見舞金として支給されるため、自己負担はありません。※お薬等は、互助会と関係ないため自費となります。

職員互助会

忘・新年会、職員同士のサークル活動、福利宿泊施設で(株)星野リゾートTOMAMUタワーと、法人契約しております。

永年勤続表彰制度

長年働き貢献した職員の労をねぎらい表彰する永年勤続表彰制度があります。勤続5年、10年、20年、30年に到達している正職員を対象に授与されます。



あなたもできる!カンフォータブル・ケア

「カンフォータブル・ケア」とは、「気持ち良い・心地よい・快適」などという意味です。あなたも医療従事者ですから、プロとして認知症について理解すると共に、プロとして認知症の患者さまへ対応することが求められます。

認知症とは、いったん正常に発達した知能(脳)に何らかの原因で記憶・判断力などの障害が起き、日常生活や社会生活がうまく行えなくなるような、病状の状態をいいます。ですから、認知症の患者さまは様々な不安の中で生活していますので、「不安・不快」な状況から、「安心・快」の心境へと導くことが重要となります。

その手立てのひとつが、カンフォータブル・ケアです。患者さまの心理状態を想像して理解してあげ、「快」の心理状態へ導くことで患者さまが落ち着き、更には、あなたの仕事もスムーズに行えることにもつながります。



カンフォータブル・ケアの基本テクニック

- ①常に笑顔で対応する
- ②常に敬語を使う
- ③相手に視線を合わせる
- ④相手にやさしく触れる
- ⑤患者をほめる
- ⑥患者に関心を向ける
- ⑦こちらから謝る態度を見せる
- ⑧不快なことは素早く終わらせる
- ⑨演じる要素を持つ
- ⑩気持ちに余裕を持つ